



第66回学習会



「1930年代を学べば、 安倍改憲を阻む道が見えてくる」

～馬と戦争、庶民の戦争責任をめぐって～

講師 中野 慶氏 (作家)

日時 2019年10月14日 (月、祝日)

開場 13:30

開会 14:00～16:30

場所 宮前市民館 第4会議室

資料代 300円

講師プロフィール【中野 慶 (なかの・けい)】氏

1957年生まれ。高校時代はラグビー部。大学で日本現代史を専攻。長らく出版社で現代史関連書を編集。

2014年から現職。本年7月に上梓した『軍馬と楯円球』(かもがわ出版)は初の一般向き小説。ラグビー体験を経た高校生が「馬と戦争」を学ぶ昭和史講座に参加して新たな挑戦を始める物語。児童読み物作品としては、被爆者との出会いで構想した『やんばる君』(童心社)『新井貴浩物語』(南々社)がある。



<講師から一言>

斬新な視点で1930年代に光をあてます。一例として軍馬と農民。この町で敗戦を迎えた、戦前の最も有名な軍馬勝山号にも言及します。これらを通じて、市民の昭和史認識の課題とは何かを模索したい。それは不思議ですが9条論と重なります。現代日本とは多層的な存在。戦前・戦後・現在で何が連続してきたのか。その地層から、改憲が容易ではないことを示す水脈が見出せます。



憲法九条を守る！この一点で集まる宮前市民の会 「宮前九条の会」

連絡先・事務局 044-855-8896 (若原)

ホームページ：<http://miyamae9.web.fc2.com/>

e-mail: miyamae9@gmail.com